

コロナ禍で客足減、新たなファン層開拓へ

淡路人形座 N響と共演

NHK交響楽団との共演をPRする淡路人形座の山崎大樹
エグゼクティブプロデューサー(左)と人形遣いの興津徳
也さん(洲本市塩屋1)

国指定重要無形民俗文化財の淡路人形浄瑠璃を受け継ぐプロ団体「淡路人形座」(南あわじ市福良甲)と、NHK交響楽団(N響)の奏者が初めて共演する公演会「N響の弦が歌い、人形が踊る」が3月13日、洲本市塩屋1の市文化体育館で開かれる。「西洋音楽と日本の伝統芸能の出会い」をテーマに、単独公演とは一味違う魅力を発信する。
(西竹唯太朗)

あわじ特急便

来月13日、洲本「和洋の初顔合わせ 見に来て」

52・0260
券2千～4千円。当日券は2200
～4400円。人形座☎0799・

「和洋の初顔合わせ」と強調した。
午後2時開演。全席指定。前売り
券2千～4千円。当日券は2200
～4400円。人形座☎0799・

2部は、N響名譽コンサートマ
スターのバイオリン奏者堀正文さん、
ピオラ奏者の佐々木亮さん、チェロ
奏者の宮坂拓志さんの三重奏があ
る。曲目はシューベルトの変ロ長調
D・471、モーツァルトのディヴ
エルティメントK・563を予定し
ている。

この演目は明治期に創作された
もので、古典ながらも時代が比較
的新しいため、太夫の語りが現代
の言葉に近い。浄瑠璃なじみが
薄いクラシックファンにも理解し
てもらいやすいため、選んだとい
う。

新型コロナウイルス禍で、伝統芸
能は客足減などの影響を受けてい
る。今回の共演は、新たなファン層
を開拓中の人形座が企画した。昨年
7月、徳島県の阿波踊り団体を南あ
わじ市に招いたのに続く、第2弾の
試み。
公演会は2部制。1部は同座が人
形浄瑠璃を披露する。演目は、世話
物の「壺坂観音霊験記」の中の「沢
市内より山の段」。目の不自由な夫
と、献身的に支える妻が互いを思い
合う姿を描く。

あわじ特急便

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

①淡路人形浄瑠璃は国の何という指定を受けていますか。

②3月13日の公演会で「淡路人形座」と共演するのは何という
団体ですか。
 ()

③それぞれの演目をまとめよう。

1部

2部

④淡路人形浄瑠璃の歴史を調べてみよう。